

〔2〕 種類別明細書(増加資産・全資産用)の書き方

① 前年度申告済の事業者は、前年中の増加資産を記入してください。

また、前年前に取得した資産を申告し忘れている場合は、その資産も記入してください。

② 今年度初めて申告される事業者は、全資産を記入してください。

税務署に申告する時に用いている耐用年数を記入してください。既に申告済みの資産を、耐用年数の申告誤りにより修正異動する場合、修正後の耐用年数を記入してください。短縮耐用年数を適用している場合は、「短縮耐用年数承認書の写」を添付してください。

申告済みの資産の中で、耐用年数省令の改正に適用し、修正異動する場合、又は前年前に取得した資産を申告もれにより増加異動する場合で、耐用年数省令の改正適用がある場合のみ記入してください。必ず「新」、「旧」の耐用年数を記入してください。

取得価額には、引取運賃・荷役費・運送保険料・購入手数料・据付費等を含みます。消費税については、法人税及び所得税における会計処理と同じ取扱いになります。(税込経理方式または税抜経理方式)

申告年度を記入してください。

資産の名称を20字以内で記入してください。

資産の数量を単位をつけずに記入してください。

取得年月を記入してください。年号については、昭和-3、平成-4、令和-5です。

氏名または名称を記入してください。

申告書の右上の所有者コードを記入してください。

この「種類別明細書(増加資産・全資産用)」についてページ数を記入してください。

- 1-構築物
  - 2-機械及び装置
  - 3-船舶
  - 4-航空機
  - 5-車両及び運搬具
  - 6-工具・器具及び備品
- として、各資産に対応する数字を記入してください。

増加資産の異動の場合は記入不要です。既に申告済みの資産を修正異動する場合のみ、同封の「種類別一覧表」に記載されている、該当資産のコード番号を4ケタで記入してください。

取得価額以外の修正異動を除いた取得価額の合計額を記入してください。  
例) 省令改正や耐用年数修正に伴う修正異動は合計額に合算しないでください。

令和 2 年度		種類別明細書(増加資産・全資産用)										(市役所提出用)		所有者コード				
1 枚のうち		1 枚目										別府産業(株)		0012345678				
行番	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	省令改正耐用年数		減価残存率	価格	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月			新	旧			率	コード			
01	1		ネオン広告塔	1	4	30	08	2,000,000	20			0.				円	1-2 3-4	
02												0.				円	1-2 3-4	
03	2		食品加工製造機	1	4	30	09	600,000	10			0.				円	1-2 3-4	中古資産
04	2		製造機改良費	1	4	30	02	2,000,000	10			0.				円	1-2 3-4	
05	2	00003	砂糖精製設備	1	4	18	06	5,000,000	10	13		0.				円	1-2 3-4	省令改正により
06	2		化学調味料製造設備	1	4	19	03	10,000,000	10	07		0.				円	1-2 3-4	申告もれ(省令改正適用)
07												0.				円	1-2 3-4	
08	6		パソコン(別府店)	4	4	30	01	1,000,000	04			0.				円	1-2 3-4	
09	6		パソコン(亀川店)	2	4	29	04	500,000	04			0.				円	1-2 3-4	申告もれ
10	6	0010	エアコン	4	4	21	06	400,000	06			0.				円	1-2 3-4	耐用年数錯誤により
11												0.				円	1-2 3-4	
12												0.				円	1-2 3-4	
13												0.				円	1-2 3-4	
14												0.				円	1-2 3-4	
15												0.				円	1-2 3-4	
16												0.				円	1-2 3-4	
17												0.				円	1-2 3-4	
18												0.				円	1-2 3-4	
19												0.				円	1-2 3-4	
20												0.				円	1-2 3-4	
小計								21,500,000										

- 増加事由については、
- 1-新品取得
  - 2-中古取得
  - 3-移動による受入
  - 4-その他
- のうち、該当する番号を○で囲んでください。

- 次のような事項を記入してください。
- 中古見積耐用年数を適用した資産(記入例) 中古資産
  - 他市町村から移動により受け入れた資産(記入例) ○月○日×市より
  - 増加償却を届出した資産(記入例) 増加償却
  - 課税標準の非課税及び特例に該当する資産(記入例) 特例・法349条の3①
  - 前年度に申告をし忘れている資産(記入例) 申告もれ
  - 耐用年数省令の改正適用がある資産(記入例) 省令改正により
  - 耐用年数の申告誤りにより修正する資産(記入例) 耐用年数錯誤により
  - 申告もれ資産でかつ耐用年数省令の改正適用がある資産(記入例) 申告もれ(省令改正適用)

(注) 「資産コード」の欄は、修正異動の場合のみご記入ください。  
「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その他いずれかに○を付けてください。  
「省令改正耐用年数」の欄は、申告済みの資産で、耐用年数省令の改正により修正異動する場合、又は前年取得資産を申告もれにより増加異動する場合で、耐用年数省令の改正適用がある場合のみご記入ください。